

2020年4月15日

国立大学法人金沢大学
学長 山崎 光悦 様

金沢大学教職員組合
執行委員長 市原 あかね

新型コロナウイルス対策としての学生支援の要望

学生支援の観点から、下記の事項について申し入れますので、よろしくお取り計らいくださるようお願い申し上げます。

全国的に新型コロナウイルスへの対応に注目が集まっていますが、大学関連の論点は主に「感染拡大防止のための授業の延期」「遠隔授業の検討」などにとどまっています。そうした中、金沢大学が迅速かつ積極的な学生支援を行うならば、全国的に大きな話題となり、他大学にも波及するのではないかと期待されます。

組合としても、新型コロナウイルスへの対応のために尽力する所存です。よろしくご検討ください。

記

1. 新型コロナウイルスへの対応による経済状況悪化により困窮した学生への経済的支援策を策定すること。

ご承知のとおり、政府や地方自治体による「イベント自粛」「不要不急の外出自粛」といった要請により、日本経済は急激に悪化し、飲食店をはじめとして、大企業、中小企業を問わず経営が困難な状況となっております。そうした状況にあって、おそらく多くの学生が、保護者の急激な経済的困窮によって学習権どころか生存権さえも脅かされかねない状況に陥っているのではないかと危惧されます。学生自身がアルバイトをしている場合にも、雇い先の休業や減収等

によって収入を得られない状態になっている学生が多いのではないかと考えられます。そうした学生に対する緊急支援を検討されますように要望いたします。

2. 学生への緊密な連絡体制を整えること。

対面で行うガイダンス・オリエンテーションの中止、遠隔授業等の施策が実施されますが、それらの決定や学生への連絡は必ずしも時宜にかなったものではありませんでした。そのため、学生からは、いつどのような形で授業が始まるのか(あるいは始まらないのか)、通常の対面での授業が始まれば感染する(あるいは感染させる)リスクが高まるという不安、大学の対応への不満が聞こえてきます。

石川県と金沢市が緊急事態宣言を出して感染拡大防止が図られていますが、状況が更に悪化する可能性は否定できません。5月7日(木)以降の対面授業の実施の有無等については、再通知されるとのことですが、丁寧な連絡をお願いします。

特に新入生については、金沢での生活、大学の各種システムへのアクセスに不慣れであることから、特別な配慮が必要です。

3. 留学生として送り出した学生の状況把握を行うこと。

金沢大学が留学生として送り出した学生の中には、自身がコロナウイルスに感染している者、生活が困窮している者もいると思われれます。大学として必要な支援を検討するためにも、一括して情報収集することをお願いします。

4. 卒業・修了予定者に対する支援を行うこと。

企業説明会を含む様々なイベントが中止や延期されていること、卒業・修了や資格取得に必要な要件が整えられるかどうか不透明(本学でも附属病院が学生実習の受け入れを中止している)であることから、特に卒業年度の学生・院生は非常に不安を感じています。卒業・修了予定者に対しては、メンタル面を含めた支援をお願いします。

以上